

令和 7 年度繰越 南箕輪村村民体育館 大規模改修工事 電気設備工事

機 械 設 備 工 事		
図 番	図 面 名 称	縮 尺
E-00	図面リスト	————
E-01	電気設備工事特記仕様書	————
E-02	高圧単線結線図・盤図	————
E-03	非常用自家発電機? 負荷計算書	————
E-04	非常用自家発電 外形図	S=1/40
E-05	非常用自家発電設備 燃料タンク- 1	S=1/20
E-06	非常用自家発電設備 燃料タンク- 2	S=1/20
E-07	外 構 設 備 配 置 図	S=1/75
E-08	照 明 器 具 姿 図	————
E-09	1 階 照 明 設 備 図	S=1/200
E-10	2 階 照 明 設 備 図	S=1/200
E-11	外 構 設 備 撤 去 図	S=1/75
E-12	1 階 照 明 撤 去 図	S=1/200
E-13	2 階 照 明 撤 去 図	S=1/200

令和7年度繰越 南箕輪村村民体育館 大規模改修工事

1 工事概要

1 工 事 場 所 葛野屋上母須西浦管線村4802-1

[illegible]

3 工事種目 ●印を付けたものを選用する。

工 事 項 目	項 目	建 物 別 及 ひ び 延 外			
		本建築			
電 灯 設 置		●1式	○1式	○1式	○1式
動力 設 置	幹線、分枝	○1式	○1式	○1式	○1式
電 熱 設 置		○1式	○1式	○1式	○1式
空 係 換 設 置		○1式	○1式	○1式	○1式
受 電 電 設 置		●1式	○1式	○1式	○1式
電力貯蔵設備		○1式	○1式	○1式	○1式
特 小 形 電 源 設 置		○1式	○1式	○1式	○1式
送 電 設 置	送電電線設置	●1式	○1式	○1式	○1式
構内換気送風網設備	LAN設備	○1式	○1式	○1式	○1式
構内文書及図面	電話設備	○1式	○1式	○1式	○1式
情報表示設備	時計設置	○1式	○1式	○1式	○1式
映像・音響設備	77-1	○1式	○1式	○1式	○1式
声 設 置	昇降放送装置	○1式	○1式	○1式	○1式
誘導・安全設備	むけむ・Hb呼出点設置	○1式	○1式	○1式	○1式
テレビ受調受信設備		○1式	○1式	○1式	○1式
監視カメラ設置		○1式	○1式	○1式	○1式
駐車場管制設備		○1式	○1式	○1式	○1式
防犯・入退室管理設備	予備配管	○1式	○1式	○1式	○1式
自動火災報知設備		○1式	○1式	○1式	○1式
自動消火設備		○1式	○1式	○1式	○1式
非常照明設備		○1式	○1式	○1式	○1式
ガス漏れ警報装置		○1式	○1式	○1式	○1式
中央監視制御設備		○1式	○1式	○1式	○1式
構内配電盤設備		○1式	○1式	○1式	○1式
構内通信設備		○1式	○1式	○1式	○1式
昇降機設備		○1式	○1式	○1式	○1式
太陽光発電設備		○1式	○1式	○1式	○1式

管理技術者等

区 分	所 属 名	氏 名
管 理 技 術 者	株式会社 創和設計	小河 豪
建築意匠主任担当技術者	株式会社 創和設計	伊東 和典
建築構造担当主任技術者	小林建築設計事務所	小林 義美
電気設備主任担当技術者	株式会社 創和設計	小河 節郎
積算主任担当技術者	株式会社 創和設計	小河 節郎

四 工事仕様

1. 普通件是

① 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁事務課の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和7年版)」(以下、「標準仕様書」という。)、¹⁾「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和7年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)、及び「公共建築設備工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和7年版)」(以下、「設備標準仕様書」という。)による。

② 機械設備工事及び建築工事と本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を採用する。

2 特記仕様

特記仕様は別紙「特記仕様書（共通事項）」によるほか次の各項目による。

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項 目	特 記 事 項										
①機 材 等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督官の承認を受ける。										
②機材の品質・性能証明	下掲示す材料・機材等（○印のもの）の製造等が次の(1)から(8)すべての事項を満たすことを、その証明となる書類は必ず添付し建設現場に提出する品質及び性能等が評価されたことを表示する書を提出し監督官の承認を受ける。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>材 料 ・ 機 材 名</th><th>材 料 ・ 機 材 名</th></tr> <tr> <td>○</td><td>○</td></tr> <tr> <td>○</td><td>○</td></tr> <tr> <td>○</td><td>○</td></tr> <tr> <td>○</td><td>○</td></tr> </table> ○「一般公共事業委員会による『建築材料・機材等品質検査受審制度』」における登録業者又は登録商標番号 ○品質及び性能に関する試験成績書 ○生品検査及び品質の管理の適切に行われていること ○安定な供給が可能であること ○法令等が定める場合は、その許可・認可・認定または免許を取得していること。 ○製造または施工の実績があること、その信頼性が高いこと。 ○耐久、保守等の営業体制が整えられていること。	材 料 ・ 機 材 名	材 料 ・ 機 材 名	○	○	○	○	○	○	○	○
材 料 ・ 機 材 名	材 料 ・ 機 材 名										
○	○										
○	○										
○	○										
○	○										
3 化学物質を発生する建築材料等	本工程の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(9)を満足するものとする。 (1) 板金、木系フLOORING、構造用パネル、集成材、単板複合材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建築材、ウリア樹脂板、仕上げ塗料及び壁紙は、ホルムアルデヒドを低減しない、放散が極めて少ないものとする。 (2) 床塗装剤、接着剤、断熱材はホルムアルデヒド及びフェノレンを放散しない、放散が極めて少ないものとする。 (3) 接着剤はイソシアネートプレミックス及びエポキシ樹脂－エーテルヘキシルを含有しない難燃性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しない、放散が極めて少ないものとする。 (4) 劣化剤はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 なお、(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、資機材、実験台、その他、作業環境等、ホルムアルデヒドを放散しない、放散が極めて少ないものとする。 また、ホルムアルデヒドを放散しないものは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒド放散が極めて少ないものは放散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外のものを採用するものとする。 ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。 また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">ホルムアルデヒドの放散値に相当する建築材料</th></tr> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">規制対象外</td><td style="width: 50%; vertical-align: top;"> ①JIS及びJASの☆☆☆等級品 ②建築基準法施行令第2条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表のあるJAS規格品 a ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 発泡スチロール系 c 赤ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散させない劣化剤使用 e 赤ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない燃料使用 f 赤ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない劣化剤使用 </td></tr> </table> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">第 三 種</th></tr> <tr> <td style="width: 50%;"></td><td style="width: 50%; vertical-align: top;"> ①JIS及びJASの☆☆☆等級品 ②建築基準法施行令第2条の2第3項による国土交通大臣認定品 ③JIS及びJASの☆☆等級品 ④JIS及びJASの☆☆等級品 </td></tr> </table>	ホルムアルデヒドの放散値に相当する建築材料		規制対象外	①JIS及びJASの☆☆☆等級品 ②建築基準法施行令第2条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表のあるJAS規格品 a ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 発泡スチロール系 c 赤ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散させない劣化剤使用 e 赤ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない燃料使用 f 赤ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない劣化剤使用	第 三 種			①JIS及びJASの☆☆☆等級品 ②建築基準法施行令第2条の2第3項による国土交通大臣認定品 ③JIS及びJASの☆☆等級品 ④JIS及びJASの☆☆等級品		
ホルムアルデヒドの放散値に相当する建築材料											
規制対象外	①JIS及びJASの☆☆☆等級品 ②建築基準法施行令第2条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表のあるJAS規格品 a ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 発泡スチロール系 c 赤ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散させない劣化剤使用 e 赤ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない燃料使用 f 赤ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない劣化剤使用										
第 三 種											
	①JIS及びJASの☆☆☆等級品 ②建築基準法施行令第2条の2第3項による国土交通大臣認定品 ③JIS及びJASの☆☆等級品 ④JIS及びJASの☆☆等級品										
4 施工条件明示項目 5 電気保安技術者	○公共建築工事確保基準等の解説(設備工事情報)の「機器進行表」欄 工事現場の電気工作物(電線、自動機、自動スイッチャー、電動機等も含む)の保安技術者が必要となる。										
⑥電 気 工 事 7 安全工程表及び 施工計画書	契約金が300万円以上の電気工作物に当たっては、第一種電気工事士により施工を行う。 (1) 実施工程表、給付仕様書等は、工事着手より先立ち提出し提出者に提出する。 (2) 工務課の電気計費書は、当該工事に立ち会った際に提出し、品質計測に係る部分は監督官員の承認を受けるとする。										
⑦使用材料発生汚染源	使用材料等、製造業者、販売元、品質性能保証資料提出の届納について記載した調査を作成し、監督官員の承認を受ける。										
⑧養生材の処理	使用材料、製造業者名、発売元等を記載した調査を作成して提出する。 (1)引剥ぎを要するもの ○無 × 有 () (2)引剥ぎを要するもの以外 ○横外搬出 図保法により適切に処理をする () (3)特別処理要廃棄物 有 ×(既設設備 別途含むより適宜に専任業務者に委託する。) () (4)再活用又は再資源化を図るもの ○無 × 撤去後焼却 20リットル・木材・737リットル・缶類等・3リットル×8個 () ○役付けなし 役付ける(焼却) 不適切 () ○すべて諸方の責任とする。() 境内に作るものが () ・別開きの図保係員者が作成したものとは、無償で使用できる。 ○本工事で設置する。() ・内部設置足場等・(常設足場・移動式足場・移動式室内足場) ○外部設置 () ・A棟「施工箇所面に枠組足場を設ける。」・B棟「施工箇所面に単管足場を設ける。」 ・C棟「仮設コブツクを使用する。」・D棟「移動式足場を使用する。」 ・E棟「仮設高圧ポンプを設置する。」										
13 工事電力・水・その他	この表に必要でない工事電力、水の費用負担が官公署その他の関係機関への請求等に要する費用は該団体の負担とする。										

項 目	特 記 事 項
-----	---------

項 目	要 素	特 記 事 項																																																																											
⑬	水 質 汚 染 防 止 措 施	工事の完了直前に、最終計画の作成を行い、監督官署へ提出すること。 環境性能評価が対象となる。																																																																											
⑭	雨水処理設備 16 再 使 用 機 器	改修し再度使用される、原則として汚濁及び結核菌汚染防止を行った後取り付ける。 ただし、結核菌等が使用に耐える場合は、監督官署に報告する。 設備機器の取付けは、「建築設備機器取付け・施工設計 2014 年版」監修（㈱）建築研究所）による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督官署に提出し承認を受けるものとする。																																																																											
⑮	耐 震 施 工	(1) 設計用水平地震力 建物の重量〔kg〕に、設計用標準水平地震強度を乗じたものとする。 なお、特記なしの場合、設計用標準水平地震強度は次のによる。 設計用標準水平地震強度																																																																											
		<table><tr><th rowspan="2">設備場所</th><th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="4">○標準の値</th><th colspan="2">○1 階の階数</th></tr><tr><th>1 層階</th><th>2 層階</th><th>3 層階</th><th>4 層階</th><th>5 層階</th><th>6 層階</th></tr><tr><td>屋上及び塔屋</td><td>防災支持の機器</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td></td><td>水栓類（※1）</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td rowspan="3">中 間 階</td><td>機 器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td>防災支持の機器</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td></tr><tr><td>水栓類（※1）</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td rowspan="2">地下・1 階</td><td>機 器</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td><td>0.4</td><td>0.4</td></tr><tr><td>防災支持の機器</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td></tr><tr><td></td><td>水栓類（※1）</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td></tr></table>	設備場所	機器種別	○標準の値				○1 階の階数		1 層階	2 層階	3 層階	4 層階	5 層階	6 層階	屋上及び塔屋	防災支持の機器	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.0		水栓類（※1）	2.0	1.5	1.5	1.0	1.0	0.6	中 間 階	機 器	1.5	1.0	1.0	1.0	0.6	0.4	防災支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0	水栓類（※1）	1.5	1.0	1.0	1.0	0.6	0.4	地下・1 階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	0.4	0.4	防災支持の機器	1.0	1.0	1.0	1.0	0.6	0.6		水栓類（※1）	1.5	1.0	1.0	1.0	0.6	0.6
設備場所	機器種別	○標準の値				○1 階の階数																																																																							
		1 層階	2 層階	3 層階	4 層階	5 層階	6 層階																																																																						
屋上及び塔屋	防災支持の機器	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.0																																																																						
	水栓類（※1）	2.0	1.5	1.5	1.0	1.0	0.6																																																																						
中 間 階	機 器	1.5	1.0	1.0	1.0	0.6	0.4																																																																						
	防災支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0																																																																						
	水栓類（※1）	1.5	1.0	1.0	1.0	0.6	0.4																																																																						
地下・1 階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	0.4	0.4																																																																						
	防災支持の機器	1.0	1.0	1.0	1.0	0.6	0.6																																																																						
	水栓類（※1）	1.5	1.0	1.0	1.0	0.6	0.6																																																																						
		（※1）水栓類にはオートタンク等を含む。 ○主要機器の設置は次のによる。 ○防災機器 ○防災設備 ○防災設備 ○防災設備 ○防災設備 ○防災設備 ○防災設備 ○防災設備 ○交換機 ○自動火災防止受信機 ○中央監視装置 ○上階階の固定は次のによる。 2 ～ 6 階階の場合は上階、7 ～ 9 階階の場合は上階 2 階、 10 ～ 12 階階の場合は上階 3 階、13 階階の場合は上階 4 階とする。																																																																											
		(2) 設計用地震動 設計用水平地震動の 1/2 とし、水平地震動と同時にかくものとする。 ※1 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※2 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※3 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※4 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※5 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※6 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※7 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※8 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※9 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※10 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※11 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※12 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※13 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※14 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※15 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※16 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※17 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※18 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※19 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※20 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※21 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※22 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※23 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※24 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※25 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※26 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※27 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※28 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※29 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※30 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※31 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※32 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※33 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※34 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※35 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※36 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※37 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※38 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※39 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※40 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※41 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※42 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※43 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※44 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※45 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※46 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※47 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※48 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※49 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※50 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※51 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※52 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※53 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※54 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※55 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※56 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※57 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※58 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※59 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※60 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※61 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※62 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※63 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※64 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※65 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※66 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※67 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※68 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※69 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※70 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※71 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※72 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※73 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※74 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※75 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※76 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※77 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※78 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※79 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※80 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※81 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※82 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※83 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※84 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※85 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※86 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※87 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※88 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※89 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※90 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※91 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※92 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※93 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※94 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※95 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※96 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※97 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※98 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※99 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※100 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※101 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※102 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※103 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※104 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※105 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※106 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※107 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※108 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※109 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※110 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※111 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※112 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※113 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※114 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※115 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※116 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※117 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※118 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※119 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※120 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※121 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※122 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※123 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※124 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※125 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※126 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※127 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※128 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※129 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※130 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※131 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※132 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※133 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※134 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※135 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※136 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※137 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※138 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※139 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※140 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※141 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※142 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※143 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※144 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※145 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※146 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※147 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※148 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※149 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※150 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※151 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※152 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※153 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※154 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※155 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※156 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※157 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※158 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※159 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※160 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※161 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※162 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※163 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※164 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※165 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※166 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※167 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※168 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※169 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※170 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※171 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※172 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※173 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※174 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※175 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※176 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※177 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※178 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※179 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※180 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※181 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※182 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※183 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※184 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※185 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※186 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※187 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※188 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※189 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※190 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※191 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※192 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※193 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※194 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※195 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※196 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※197 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※198 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※199 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※200 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※201 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※202 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※203 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※204 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※205 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※206 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※207 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※208 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※209 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※210 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※211 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※212 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※213 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※214 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※215 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※216 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※217 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※218 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※219 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※220 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※221 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※222 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※223 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※224 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※225 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※226 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※227 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※228 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※229 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※230 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※231 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※232 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※233 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※234 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※235 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※236 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※237 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※238 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※239 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※240 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※241 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※242 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※243 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※244 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※245 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※246 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※247 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※248 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※249 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※250 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※251 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※252 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※253 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※254 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※255 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※256 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※257 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※258 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※259 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※260 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※261 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※262 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※263 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※264 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※265 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※266 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※267 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※268 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※269 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※270 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※271 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※272 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※273 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※274 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※275 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※276 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※277 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※278 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※279 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※280 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※281 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※282 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※283 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※284 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※285 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※286 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※287 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※288 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※289 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21 年）第 2 版による。 ※290 建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）第 1 版（平成 21																																																																											

(別表) しゅん工事提出物 (・に○印のついたものを提出する。)

別 表 提 出 物		一 括 提 出 物	
1	完成図	6	機器完成図
	○ 原図 (A 版 ケース入り)	7	工事写真
	○ 原図 (A 版 2 枚折り製本 1 部)	7	完成写真
	○ CADデータ (jww と dxf 形式)	8	工事記録 (打合せ簿、工事日記、協議書)
2	設計図	9	機材の試験成績書
	○ CADデータ	10	施工の試験成績書
		11	社内試験成績書
3	引渡書	12	発生何処相継書
4	納入品		(商業物知照実施書、運搬及び処理の委託契約書の写し、フロー図)
	○ 予備品 ○ 整備の要	13	納入品一覧表
	○ ハンドホールフック、ジャッキ	14	官公事手続、検査書 (管理者用正本、写し)
		15	保全に関する資料 (取扱説明書もきむ)

3 ハンドホール

下表による。(梯子は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを1組納入する。)
 ブロックハンドホール (寸法は内法を示す。扉部はハンドホール内側底部をいう。)
 ・コンクリート相互間とは、工法に係る強度差により異なる。
 ・ブロックの仕様は国土交通省仕様に準ずるものとする。
 ・ハンドホールにノックアウト部を設ける必要はない。
 ・耐火構造として原則として耐火性能が1時間以上(180分)以上とし、差し筋D10タテヨコφ200で補強する。
 ・耐火構造については、防火区画の区分等により異なる。

ハンドホール No -	1,500X1,500X1,500D 産 WPM-60A (Eマーク)	窓部 GL-1, 740以上 (アルミ標準付)
ハンドホール No -	1,200X1,200X1,500D 産 WPM-60A (Eマーク)	窓部 GL-1, 700以上 (アルミ標準付)
ハンドホール No -	1,000X1,000X1,400D 産 WPM-60A (Eマーク)	窓部 GL-1, 600以上 (アルミ標準付)
ハンドホール No -	1,000X1,000X1,100D 産 WPM-60A (Eマーク)	窓部 GL-1, 300以上 (アルミ標準付)
ハンドホール No -	1,000X1,000X 900D 産 WPM-60A (Eマーク)	窓部 GL-1, 000以上 (アルミ標準付)
ハンドホール No -	900X 800X1,200D 産 WPM-60A (Eマーク)	窓部 GL-1, 300以上 (アルミ標準付)
ハンドホール No -	900X 900X 900D 産 WPM-60A (Eマーク)	窓部 GL-1, 050以上 (既製足付)
ハンドホール No -	600X 600X 680D 産 WPM-60A (Eマーク)	(既製足付)
○ ハンドホール No -	450X 450X 680D 産 WPM-45B (Eマーク)	※標準着乗車線の運行がない場合は、 収容率の少ない車両にのみ適用

4 讨论

下表による。ただし、これよりがたい場合は監督員との協議による。

A・D 種 埋 地 (一般設置)	鋼板：5 t × 900 × 900 リード端子付 絶縁覆面長中心寸	補強埋地棒 (連続)：10 × 1、5.00 t 2 m 増設 (黄銅又はステンレス製)
B 種 埋 地 (絶縁覆面)	鋼板：5 t × 600 × 600 リード端子付 絶縁覆面長中心寸	補強埋地棒 (連続)：10 × 1、5.00 t 2 m 増設 (黄銅又はステンレス製)
C 種 埋 地	鋼板：5 t × 900 × 900 リード端子付 絶縁覆面中心寸	補強埋地棒 (連続)：10 × 1、5.00 t 2 m 増設 (黄銅又はステンレス製)
D 種 埋 地	埋地棒 (10 × 6 t、5 m)	リード端子付、打ち込み式

國國に特記なきは

名 称	测 点	取付高(mm)	名 称	测 点	取付高(mm)
-----	-----	---------	-----	-----	---------

[illegible]

6 定期報告

管理者からの聞き取り調査を含め、調査には必ず管理者の立会いを要する。

MEMORANDUM	TITLE 令和 7 年度 南箕輪村村民体育館 大規模改修工事	ITEM 電気設備特記仕様書	SCALE A1:N S (A2:50%縮小)	DATE 2025.10	CHECK/DRAWING 一級建築士 加藤 謙 03(562)4338 小沢 豪	 株式会社 創和設計 〒201-8501 東京都上野区墨田町中興2674-1 tel: 03(56)79-1222(代) fax: 03(56)79-1956 一級建築士 加藤 謙 (印) 03(56)791140 一級建築士 小沢 豪 03(56)42436 電気設備士 小沢 豪	SHEET NO. E-01 / 13
------------	---------------------------------------	-------------------	-------------------------------	-----------------	---	--	------------------------

(既設増設)

3φ3W 6.6KV 60Hz
中電柱 0.5~475



記号	名 称	記号	名 称	記号	名 称
CH	ケーブルヘッド	SR	直列リクトル	W	電力計
VCT	電力需用計用変成器	SC	遠相コンデンサ	Wh	無効電力計
DS	断路器	F	ヒューズ	Nh	積算電力計
LBS	高圧交流負荷開閉器	NCOB	配線用遮断器	Varh	積算無効電力量計
PF	高圧限流ヒューズ	ELOB	漏電遮断器	QOS-φ	力率計
VCR	真空遮断器	OCR	過電流遮断器	Hc	周波数計
VAC	真空電圧接触器(電動操作)	UVR	不足電圧継電器	AS	電圧切替スイッチ
LM	速断器	DGR	地絡方向継電器	VS	電圧切替スイッチ
VT	計量用変圧器	TD	交換器	WDT	双投分電圧接触器
CT	計量用変流器	APFC	自動力率調整装置	ELR	漏電継電器
ZGT	零相相変流器	ZPD	相子相零相基準入力装置		
1φT	単相変圧器	A	電流計		
3φT	三相変圧器	V	電圧計		

ト リ ス 盤 電 分

整 名 称	整 結 図	回 路 番 号	分 岐 情 形	負 荷 容 量 (VA)	備 考
		種 類	P A F A T		
空冷機 屋外自立型 (熱源)					
16演 計-C 機より	切替機 210/105V DET100q NCCB 3P 225AF/200AT 機械運動子			既設電力盤	
16演 充電機より	210/105V DET100q NCCB 3P 225AF/200AT				
16演 計-C 機より	切替機 210/105V DET22q NCCB 3P 100AF/75AT 機械運動子			空調制御盤1 6.05KVA	
16演 充電機より	210/105V DET22q NCCB 3P 100AF/75AT				
26演 計-C 機より	切替機 210V DET30q NCCB 3P 100AF/75AT 機械運動子			既設動力盤	
26演 充電機より	210V DET30q NCCB 3P 100AF/75AT				
26演 計-C 機より	切替機 210V DET150q NCCB 3P 400AF/350AT 機械運動子			空調制御盤2 88.07KVA	
26演 充電機より	210V DET150q NCCB 3P 400AF/350AT				
36演 計-C 機より	切替機 210V DET150q NCCB 3P 400AF/350AT 機械運動子			空調制御盤3 68.07KVA	
36演 充電機より	210V DET150q NCCB 3P 400AF/350AT				
空冷制御盤1 屋外自立型 (熱源増設)	切替機より 210V DET150q NCCB 3P 400AF/350AT	① ② ③ ④	ELCB3 150 125 ELCB3 150 125 ELCB3 150 125 ELCB3 50 40	MAC-1 22.69KW MAC-2 22.69KW MAC-3 22.69KW PAC-2 3.13KW	既設 既設 既設 新設増設
				計68.07 → 71.2KW	
空冷制御盤1 屋外自立型 (熱源増設)	切替機より 210V DET150q NCCB 3P 400AF/350AT	① ② ③ ④	ELCB3 150 125 ELCB3 150 125 ELCB3 150 125 ELCB3 50 40	MAC-4 22.69KW MAC-5 22.69KW MAC-6 22.69KW PAC-1 2.26KW	既設 既設 既設 新設増設
				計69.07 → 70.33KW	

南箕輪村村民体育館 自家発電設備出力計算書

特性等		自家発電設備	
(1)	対象負荷機器 様式-2 のとおり	(1)	種 類 屋外用キュービクル式長時間形
(2)	発電機 特性 KG3 = 1.500 KG4 = 0.150 xd'g = 0.250 ΔE = 0.250 ηg = 0.925	(3)	形式番号 発電機出力 定格出力 170.0 kVA 定格電圧 220 V 定格効率 0.800 極 数 4 極 定格周波数 60 Hz 定格回転速度 1,800min ⁻¹
(3)	原動機 特性 ε = 0.800 γ = 1.100 a = 0.200	(4)	原動機出力 原動機の種別 ディーゼル機関 (長時間形) 定格出力 278.0 kW [378.1 PS] 使用燃料 軽油 定格回転速度 1,800min ⁻¹
(4)	負荷機器 **D = 0.750 **d = 0.750	(5)	整合比 1.890
		作 成 者	会社名 氏 名 資 格 印

※：1,000未満の場合は、消防設備用出力算定には使用できません。

様式-2 <最大最終> 件名：南箕輪村村民体育館

[illegible]

(A) : $= ks / Z' m \times m_1$ (B) : $= |ks / Z' m d / (\eta b \times \cos \theta b)| \times m_1$ (C) : $= |ks / Z' m \times \cos \theta s - (s - a) \times d / \eta b| \times m_1$ (D) : $= (ks / Z' m \times \cos \theta s - d / \eta b) \times m_1$
(ただしエレベーター負荷のときは、各式に U_V をつけた値とする。) グループ欄が「単」の場合は、単機での始動を示す。

様式-3 〈最大最終〉 件名：南箕輪村村民体育館

自家発電設備出力計算シート（発電機）			
RG1	$= \frac{1}{\eta L} \times D \times Sf \times \frac{1}{\cos \theta g} = \frac{1}{0.880} \times 1.000 \times 1.000 \times \frac{1}{0.800} = 1.421$ $\Delta P = A + B - 2C = 0.00 + 0.00 - 2 \times 0.00 = 0.00$ $u = \left(\frac{A - C}{\Delta P} \right) = \left(\frac{0.00}{0.00} \right) = 1.000$ $Sf = \sqrt{1 + \frac{\Delta P}{K} + \left(\frac{\Delta P}{K} \right)^2 \times (1 - 3u + 3u^2)}$ $= \sqrt{1 + \frac{0.00}{5.50} + \left(\frac{0.00}{5.50} \right)^2 \times (1 - 3 \times 1.000 + 3 \times 1.000^2)} = 1.000$	定常負荷出力係数 RG1 1.421	
RG2	エレベーター 無（0） $= \left(\frac{1 - \frac{\Delta E}{\Delta E}}{0.250} \right) \times x d' g \times \frac{ks}{Z_m} \times \frac{M_2}{Z_m}$ $= \left(1 - \frac{0.250}{0.250} \right) \times 0.125 \times \frac{1.000}{0.120} \times \frac{5.50}{5.50} = 3.125$	許容電圧降下出力係数 RG2 3.125	
RG3	$= \frac{fv}{K_{G3}} \times \left\{ \left(\frac{d}{\eta b \times \cos \theta b} \right) \times \left(1 - \frac{M_3}{K} \right) + \frac{ks}{Z_m} \times \frac{M_3}{Z_m} \right\}$ $= \frac{0.880}{1.650} \times \left\{ \left(\frac{0.850}{0.850} \times \frac{1.000}{0.800} \right) \times \left(1 - \frac{5.50}{5.50} \right) + \frac{1.000}{0.120} \times \frac{5.50}{5.50} \right\}$ $= 4.445$	短時間過電流耐力出力係数 RG3 4.445	
RG4	$= \frac{1}{K} \times \frac{1}{K_{G4}} \times \sqrt{\left(H - RAF^2 + \left(\sum \frac{A_i}{\eta i \times \cos \theta i} + \sum \frac{B_i}{\eta i \times \cos \theta i} - 2 \times \sum \frac{C_i}{\eta i \times \cos \theta i} \right)^2 \times (1 - 3u + 3u^2) \right)}$ $\times H = hb \times \sqrt{\left(\sum \frac{R_{6i} \times h_{ki}}{\eta i \times \cos \theta i} \right)^2 + \left(\sum \frac{R_{3i} \times h_{ki}}{\eta i \times \cos \theta i} \right) \times hph^2}$ $= \frac{1}{5.50} \times \frac{1}{0.000} \times \sqrt{\left(\frac{0.00}{0.00} \right)^2 + \left(\frac{0.00}{0.00} \right)^2 \times (1 - 3 \times 1.000 + 3 \times 1.000^2)}$ $= 0.000$	許容逆相電流出力係数 RG4 0.000	
RG	$= RG < 3 \quad \rightarrow = 4.445 \quad RG1, RG2, RG3, RG4 \text{のうち最大値}$	4.445	
発電機計算出力 G' $G' = RG \times K = 4.445 \times 5.50 = 24.45 \text{ (kVA)}$		発電機定格出力 G $G = 31.5$	

備考: G は G' の値の95%以上の値とする。

様式-4 〈最大最終〉 件名：南箕輪村村民体育館

自家発電設備出力計算シート（原動機、整合）			
RE1	$= \left(\frac{1}{\eta_L} \right) \times D \times \left(\frac{1}{\eta_g} \right) = \left(\frac{1}{0.829} \right) \times 0.750 \times \left(\frac{1}{0.925} \right) = 0.978$	定常負荷出力係数 RE1 0.978	許容回転速度変動出力係数 RE2 1.138
RE2	$= \frac{1}{\varepsilon} \times \frac{fv_2}{\eta_g} \times \left\{ (\varepsilon - a) \times \frac{d}{\eta_b} \times \left(1 - \frac{W_2}{K} \right) + \frac{ks}{Z_m} \times \cos \theta_s \times \frac{W_2}{K} \right\}$ $= \frac{1}{0.800} \times \frac{1.000}{0.879} \times \left\{ (0.800 - 0.200) \times \frac{0.750}{0.827} \times \left(1 - \frac{10.00}{146.60} \right) \right.$ $\left. + \frac{1.000}{0.140} \times 0.600 \times \frac{10.00}{146.60} \right\}$ $= 1.138$		
RE3	$= \frac{1}{\gamma} \times \frac{fv_3}{\eta_g} \times \left\{ \frac{d}{\eta_b} \times \left(1 - \frac{W_3}{K} \right) + \frac{ks}{Z_m} \times \cos \theta_s \times \frac{W_3}{K} \right\}$ $= \frac{1}{1.100} \times \frac{1.000}{0.879} \times \left\{ \frac{0.750}{0.827} \times \left(1 - \frac{10.00}{146.60} \right) + \frac{1.000}{0.140} \times 0.600 \times \frac{10.00}{146.60} \right\}$ $= 1.177$	許容最大出力係数 RE3 1.177	
RE	$= \text{RE} < 3 > = 1.177 \quad \text{RE1, RE2, RE3 のうち最大値}$	RE 1.177	
原動機計算出力 E'	$E' = RE \times K = 1.177 \times 146.60 = 172.51 \text{ (kW)}$		
整合	$MR' = \frac{E'}{G \times \cos \theta_g} \times \eta_g = \frac{172.51}{170.0 \times 0.800} \times 0.925 = 1.173$		
原動機定格出力 E	$\begin{matrix} MR' = 1.173 \\ MR = 1.890 \end{matrix} \quad E^* = 172.51 \text{ (kW)}$	E = 278.0 (kW)	

備考: EはE' 又はE*の値以上の値とする。

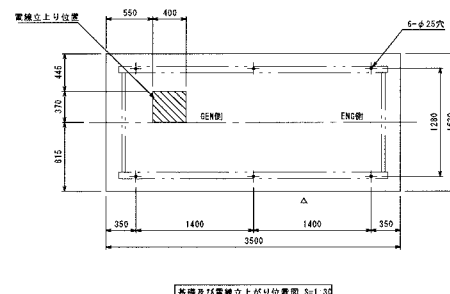
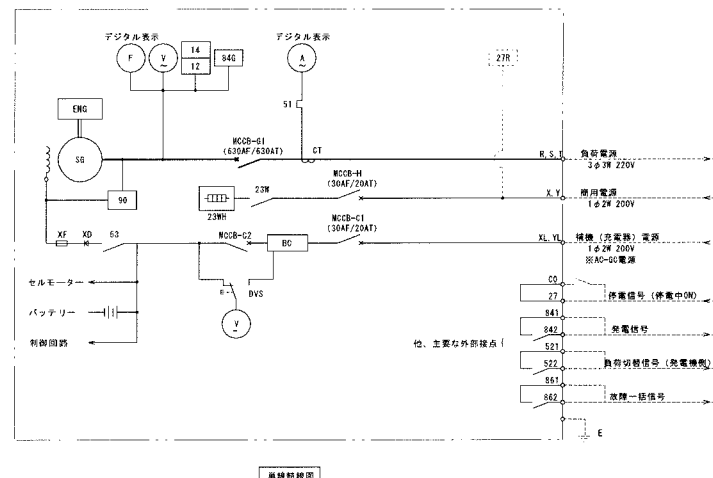
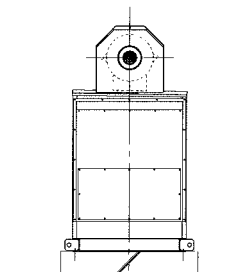
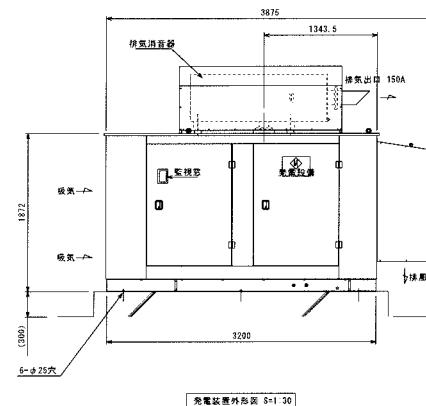
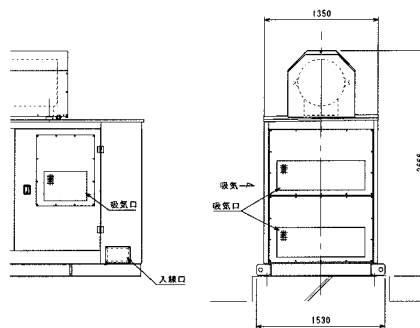
自家発電設備の出力	G = 170.0 (kVA) 力率 = 0.800	E = 278.0 (kW) 378.1 (PS) ディーゼル機関 (長時間形)
-----------	----------------------------	--

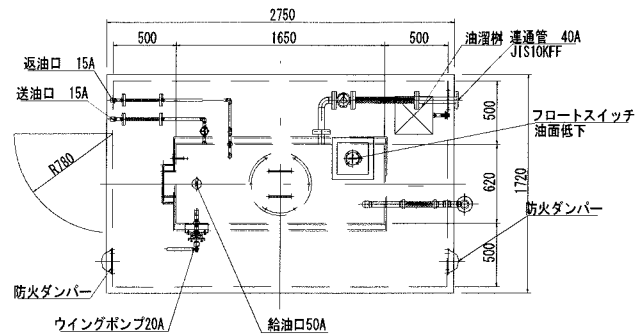
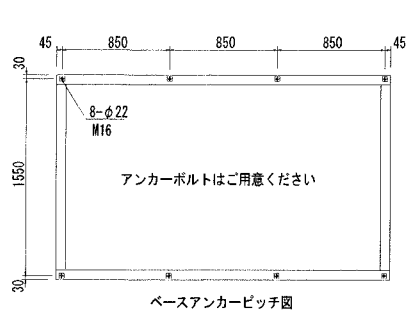
発電装置仕様	
日本工業規格 (JIS)	
電気規格適合標準規格 (JEC)	
日本電機工業標準規格 (JEM)	
消防法	
(注) 日本内務省消防協会「自家発電設備に関する認定技術基準」	
設置場所	屋外
定格運転時間	長時間
騒音仕様	低騒音形
シーケンス制御による全自動運転 (自動起動・自動停止)	
運転方式	電源スイッチによる手動運転・手動停止
	自動保守運転モード (7日又は14日毎に3分間の無負荷運転)
始動時間	停電より負荷投入まで 40秒以内

発電機仕様	エンジン仕様
型式	機軸回転異相形同期発電機
発電機出力	225 kVA
電圧	170 V
定格電流	446 A
周波数	60 Hz
回転速度	1800 min ⁻¹
相数・線数	3 φ 3 W
極数	4 P
効率	80% (遅れ)
定格運転	冷却方式 ラジエーター冷却式
耐熱クラス	H級
励磁方式	ブラシレス励磁
制御装置仕様	
型式	閉鎖形 (発電品質格納) 移動用バッテリー駆動式シールド蓄電池 (RBM)
機能	自動始動装置、保護装置、励磁調整器、バッテリー容量 DC 24 V - 48 Ah
	土回路遮断器、計測装置、表示灯 充電方式 半導体自動充電式
	自動充電器

外装塗装色	マシセル 5Y7/1 (近銀色) 半ツヤ
ベース塗装色	マシセル M1
騒音グレード	機軸1mにて 85dB (A) ※4方向での平均値
機軸重量	35839 N (約 3557 kg)
	基礎に掛る最大荷重 58104 N (約 5929 kg)
その他	耐震ストッパー、防錆ゴム付

保護装置一覧					外部信号
項 目	警報表示灯	警 報	機関自動停止	主回路遮断	
緊急停止	○	○	○	○	故障一掃 ○
始動故障	○	○	○	○	
過回転	○	○	○	○	
過電流	○	○	×	○	
潤滑油圧低下	○	○	○	○	
冷却水温度上昇	○	○	○	○	





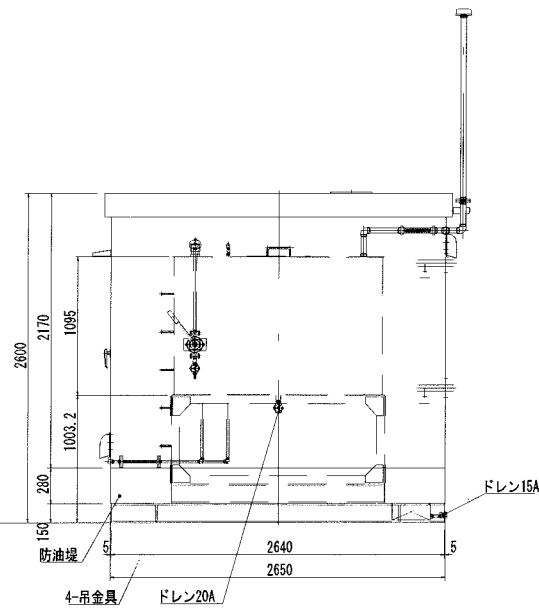
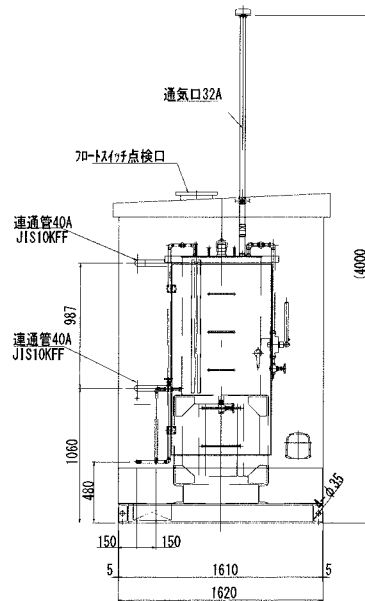
容量計算

総容量: $(1650-9) \times (620-9) \times (1095-10.5) \times 10^{-6}$
 $1641 \times 611 \times 1084.5 \times 10^{-6} = 1087.37\text{L}$

空間容量: $1087.37 - 980 = 107.37\text{L}$
 空間容量比: $107.37 \div 1087.37 \times 100 (\%) = 9.87\%$

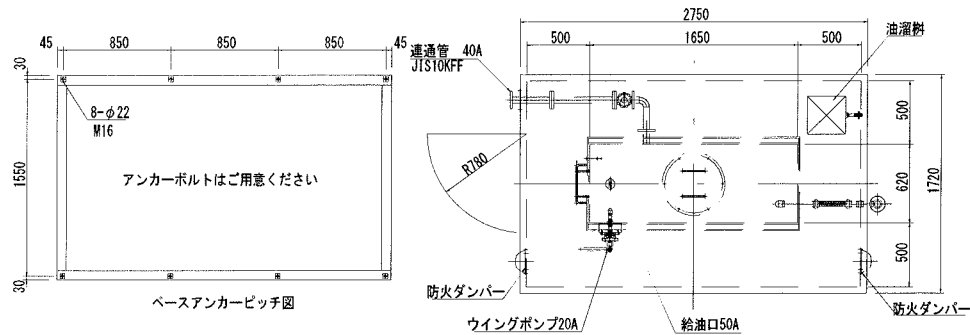
防油堤容量計算

容量: $(2650-6.4) \times (1620-6.4) \times (280-3.2) \times 10^{-6}$
 $2643.6 \times 1613.6 \times 276.8 \times 10^{-6} = 1180.74\text{L}$
 容量比: $1180.74 \div 980 \times 100 (\%) = 120.48\%$



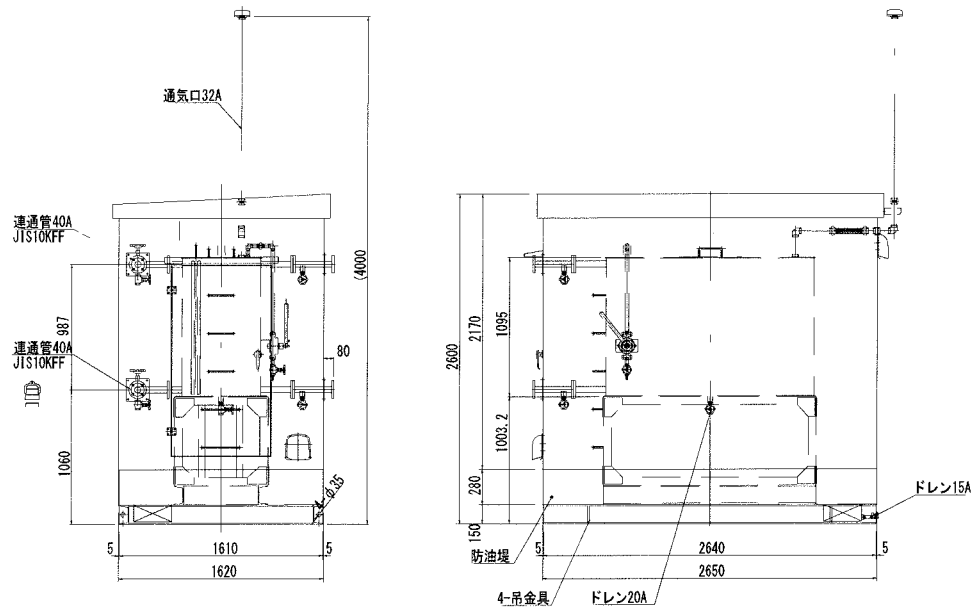
ボンネット使用鋼板	
屋根	: SPHC t 2.3
外板	: SPHC t 2.3
防油堤	: SPHC t 3.2
ベース	: SS400 [150×75]
燃料タンク	
天板	: SS400 t 4.5
側板	: SS400 t 4.5
底板	: SS400 t 6.0
架台	: SS400 L65×65×t 6
塗装色: 5Y7/1 半ツヤ	
ベース: 塗装仕上	

乾燥質量: 約1800kg



容量計算
 総容量: $(1650-9) \times (620-9) \times (1095-10.5) \times 10^{-6}$
 $1641 \times 611 \times 1084.5 \times 10^{-6} = 1087.37\text{L}$
 空間容量: $1087.37 - 980 = 107.37\text{L}$
 空間容量比: $107.37 \div 1087.37 \times 100 (\%) = 9.87\%$

防油堤容量計算
 容量: $(2650-6.4) \times (1620-6.4) \times (280-3.2) \times 10^{-6}$
 $2643.6 \times 1613.6 \times 276.8 \times 10^{-6} = 1180.74\text{L}$
 容量比: $1180.74 \div 980 \times 100 (\%) = 120.48\%$

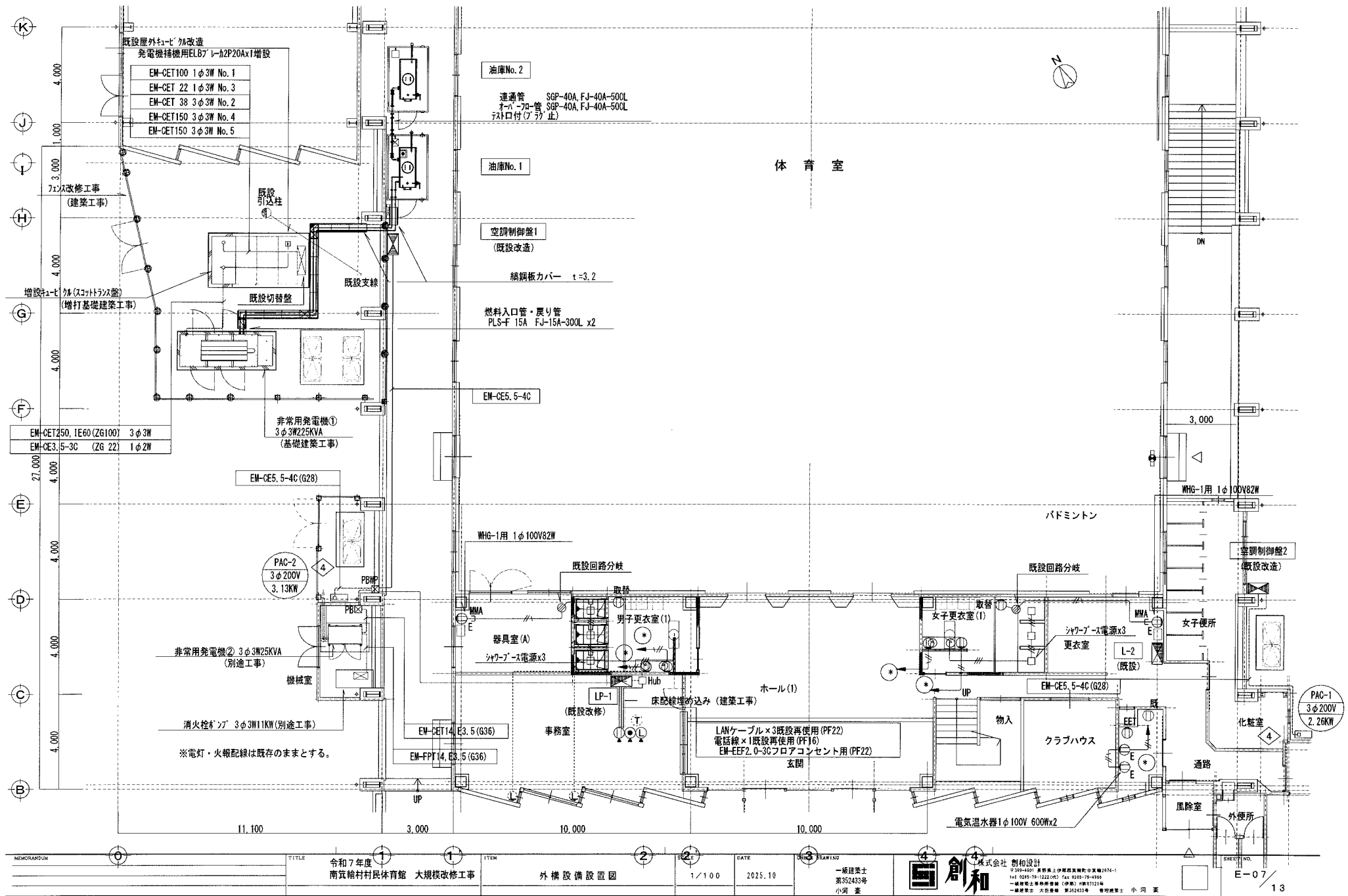


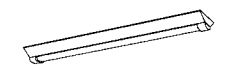
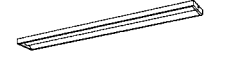
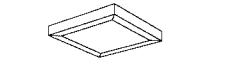
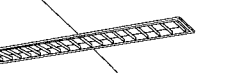
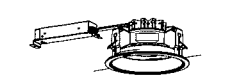
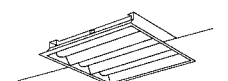
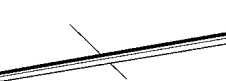
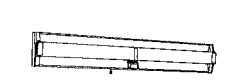
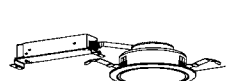
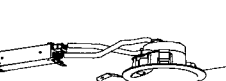
ボンネット使用鋼板	
屋根	: SPHC t 2.3
外板	: SPHC t 2.3
防油堤	: SPHC t 3.2
ベース	: SS400 [150×75]
燃料タンク	
天板	: SS400 t 4.5
側板	: SS400 t 4.5
底板	: SS400 t 6.0
架台	: SS400 L65×65×t 6
塗装色: 5Y7/1 半ツヤ	
ベース: 塗装仕上	

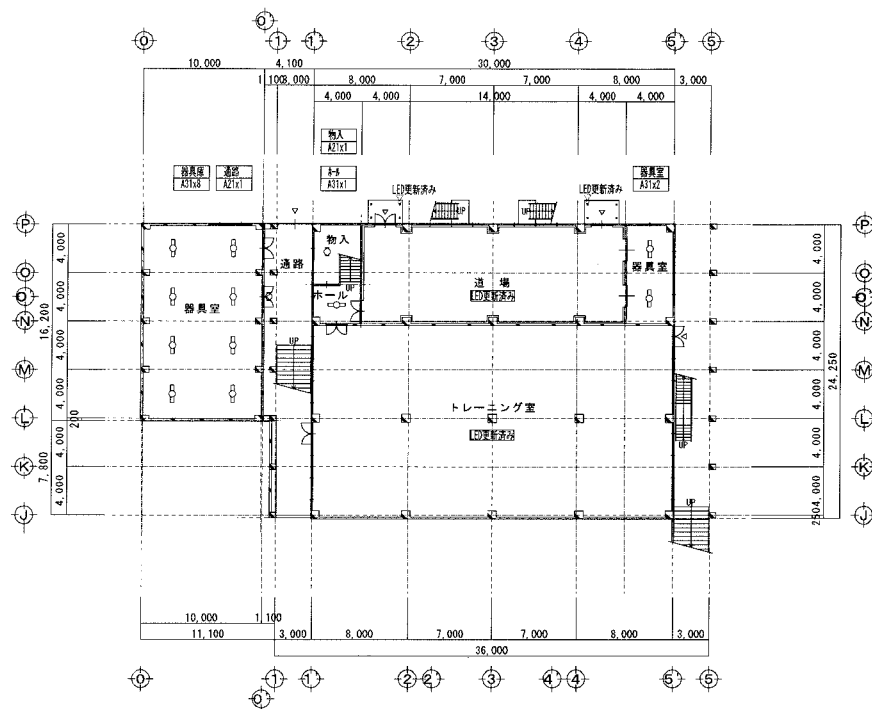
乾燥質量: 約1800kg

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK DRAWING	SHEET NO.
	令和7年度 南箕輪村村民体育館 大規模改修工事	非常自家発電設備 燃料タンク-2	1/20	2025.10	一般建築士 第352433号 小川 豪	E-06/13

株式会社 創和設計
 〒339-4501 茨城県上野市伊勢崎駅前中興ビル204-1
 TEL 0299-79-1222(代) FAX 0299-79-4896
 一級建築士事務所 創和設計 (伊勢崎) 0299-79-1222
 一級建築士 大石 隆雄 第352433号 管理建築士 小川 豪



A 21	iDシリーズ直付型 20形 Dスタイル 800lm	A 21 b	iDシリーズ非常灯 20形 Dスタイル 800lm	B 21 W	iDシリーズ直付型 20形 Dスタイル 800lm	C 32	iDシリーズ直付型 40形 スリムベース 6900lm	D	LED x 71°-35° FHP23形 x 4灯相当タイプ 直付型	E 32	iDシリーズ埋込型 40形 フリーコンフォート W220
A 31	iDシリーズ直付型 40形 Dスタイル 3200lm	A 31 b	iDシリーズ非常灯 20形 Dスタイル 3200lm	B 31 W	iDシリーズ直付型 40形 Dスタイル 3200lm	C 111	iDシリーズ直付型 110形 スリムベース 6400lm				
A 32	iDシリーズ直付型 40形 Dスタイル 6900lm			B 32 W	iDシリーズ直付型 40形 Dスタイル 6900lm						
A 111	iDシリーズ直付型 110形 Dスタイル 6400lm										
											
	一般タイプ 消費電力4.3、1W、定格出力型、電圧100~242V 本体・鏡板(白色粉体塗装) ライバー(カバー) ポリカーボネート(乳白) 光束維持時間4000時間(光束維持率85%) 点検スイッチ付、点検モニタ付、リモコン・FSK90910K(別売) 電圧調整はライバー側に内蔵	非常灯タイプ 定格 ライトバー点灯、非点灯、本体側LED(一般型)点灯 電圧:100~242V対応、蓄電池:ニッケル水素電池 全方向照射(全周照射) 非常用LED(バックライト) ガラス、高圧ライバー(ポリカーボネート(乳白)) 光束維持時間4000時間(光束維持率85%)、点検スイッチ付、点検モニタ付、リモコン・FSK90910K(別売) 白色点検スイッチ付、点検モニタ付、リモコン・FSK90910K(別売)	一般タイプ 消費電力4.3、1W、定格出力型、電圧100~242V 本体・鏡板(クロムフリー・高反射白色粉体塗装) ライバー(カバー) ポリカーボネート(乳白)・アクリルコーティング 防湿型・防湿型(バックライト) ガラス、高圧ライバー(ポリカーボネート(乳白)) 光束維持時間4000時間(光束維持率85%) IP23防湿型、乳白色(5000K)、Ra83 電圧調整はライバー側に内蔵	一般タイプ 消費電力4.3、1W、定格出力型、電圧100~242V 本体・鏡板(クロムフリー・高反射白色粉体塗装) ライバー(カバー) ポリカーボネート(乳白) 光束維持時間4000時間(光束維持率85%) 乳白色(5000K)、Ra83 電圧調整はライバー側に内蔵	一般タイプ 消費電力4.3、1W、定格出力型、電圧100~242V 本体・鏡板(クロムフリー・高反射白色粉体塗装) ライバー(カバー) ポリカーボネート(乳白) 光束維持時間4000時間(光束維持率85%) 乳白色(5000K)、Ra83 電圧調整はライバー側に内蔵	一般タイプ 消費電力4.3、1W、定格出力型、電圧100~242V 本体・鏡板(クロムフリー・高反射白色粉体塗装) ライバー(カバー) ポリカーボネート(乳白) 光束維持時間4000時間(光束維持率85%) 乳白色(5000K)、Ra83 電圧調整はライバー側に内蔵					
F	軒下用ダウンライト 350形	G	LED x 71°-35° FHP23形 x 4灯相当タイプ 埋込下面開放型	H 21	iDシリーズ直付型 20形 下面開放型 800lm	I 111	iDシリーズ埋込型 110形 下面開放型 6400lm	J 21	iDシリーズ直付型 20形 iスタイル 800lm	K 21	LEDウォールライト 20形
				H 31	iDシリーズ直付型 40形 下面開放型 3200lm			J 31	iDシリーズ直付型 40形 iスタイル 3200lm		
				H 32	iDシリーズ直付型 40形 下面開放型 6900lm						
											
	LED x 71°-35° (Dと和) タイプ、電源ユニット内蔵、軒下用(防湿型) 一般タイプ、鏡板(白色粉体塗装) (約1%~100%)、光束維持率15度、光束タイプ 光束維持時間4000時間(光束維持率85%)、5000K、Ra83 点検スイッチ付、点検モニタ付、リモコン・FSK90910K(別売) 点検スイッチ付、点検モニタ付、リモコン・FSK90910K(別売) 点検スイッチ付、点検モニタ付、リモコン・FSK90910K(別売)	LED x 71°-35° (Dと和) タイプ、電源ユニット内蔵、軒下用(防湿型) 一般タイプ、鏡板(白色粉体塗装) (約1%~100%)、光束維持率15度、光束タイプ 光束維持時間4000時間(光束維持率85%)、5000K、Ra83 点検スイッチ付、点検モニタ付、リモコン・FSK90910K(別売) 点検スイッチ付、点検モニタ付、リモコン・FSK90910K(別売) 点検スイッチ付、点検モニタ付、リモコン・FSK90910K(別売)	LED x 71°-35° (Dと和) タイプ、電源ユニット内蔵、軒下用(防湿型) 一般タイプ、鏡板(白色粉体塗装) (約1%~100%)、光束維持率15度、光束タイプ 光束維持時間4000時間(光束維持率85%)、5000K、Ra83 点検スイッチ付、点検モニタ付、リモコン・FSK90910K(別売) 点検スイッチ付、点検モニタ付、リモコン・FSK90910K(別売) 点検スイッチ付、点検モニタ付、リモコン・FSK90910K(別売)	LED x 71°-35° (Dと和) タイプ、電源ユニット内蔵、軒下用(防湿型) 一般タイプ、鏡板(白色粉体塗装) (約1%~100%)、光束維持率15度、光束タイプ 光束維持時間4000時間(光束維持率85%)、5000K、Ra83 点検スイッチ付、点検モニタ付、リモコン・FSK90910K(別売) 点検スイッチ付、点検モニタ付、リモコン・FSK90910K(別売) 点検スイッチ付、点検モニタ付、リモコン・FSK90910K(別売)	LED x 71°-35° (Dと和) タイプ、電源ユニット内蔵、軒下用(防湿型) 一般タイプ、鏡板(白色粉体塗装) (約1%~100%)、光束維持率15度、光束タイプ 光束維持時間4000時間(光束維持率85%)、5000K、Ra83 点検スイッチ付、点検モニタ付、リモコン・FSK90910K(別売) 点検スイッチ付、点検モニタ付、リモコン・FSK90910K(別売) 点検スイッチ付、点検モニタ付、リモコン・FSK90910K(別売)	LED x 71°-35° (Dと和) タイプ、電源ユニット内蔵、軒下用(防湿型) 一般タイプ、鏡板(白色粉体塗装) (約1%~100%)、光束維持率15度、光束タイプ 光束維持時間4000時間(光束維持率85%)、5000K、Ra83 点検スイッチ付、点検モニタ付、リモコン・FSK90910K(別売) 点検スイッチ付、点検モニタ付、リモコン・FSK90910K(別売) 点検スイッチ付、点検モニタ付、リモコン・FSK90910K(別売)					
L 32 b	直管LEDランプ x 1 階段灯道路誘導灯兼用型	M	LED 標示灯	N	ダウンライト 150形	O	ひとセンサ付ダウンライト 200形	P	シーリングライト 40形 x 4灯相当 x 71° x 35° 1灯相当	Q	シーリングライト 60形電球1灯器具相当
											
	ランプ内蔵、電源ユニット内蔵、ガラス管型、H132形定格出力型器具相当 器具タイプ、ひとセンサ付器具相当30分、非常時:1080lm品 器具タイプ、ひとセンサ付器具相当30分、非常時:1080lm品 器具タイプ、ひとセンサ付器具相当30分、非常時:1080lm品	LED 標示灯 器具タイプ、ひとセンサ付器具相当30分、非常時:1080lm品 器具タイプ、ひとセンサ付器具相当30分、非常時:1080lm品 器具タイプ、ひとセンサ付器具相当30分、非常時:1080lm品	LED内蔵 x フロア (Dと和) タイプ、電源ユニット内蔵、一般汎用タイプ 5000K、Ra83、防湿タイプ 光束維持率15度、光束タイプ、光束維持率15度、光束タイプ 光束								

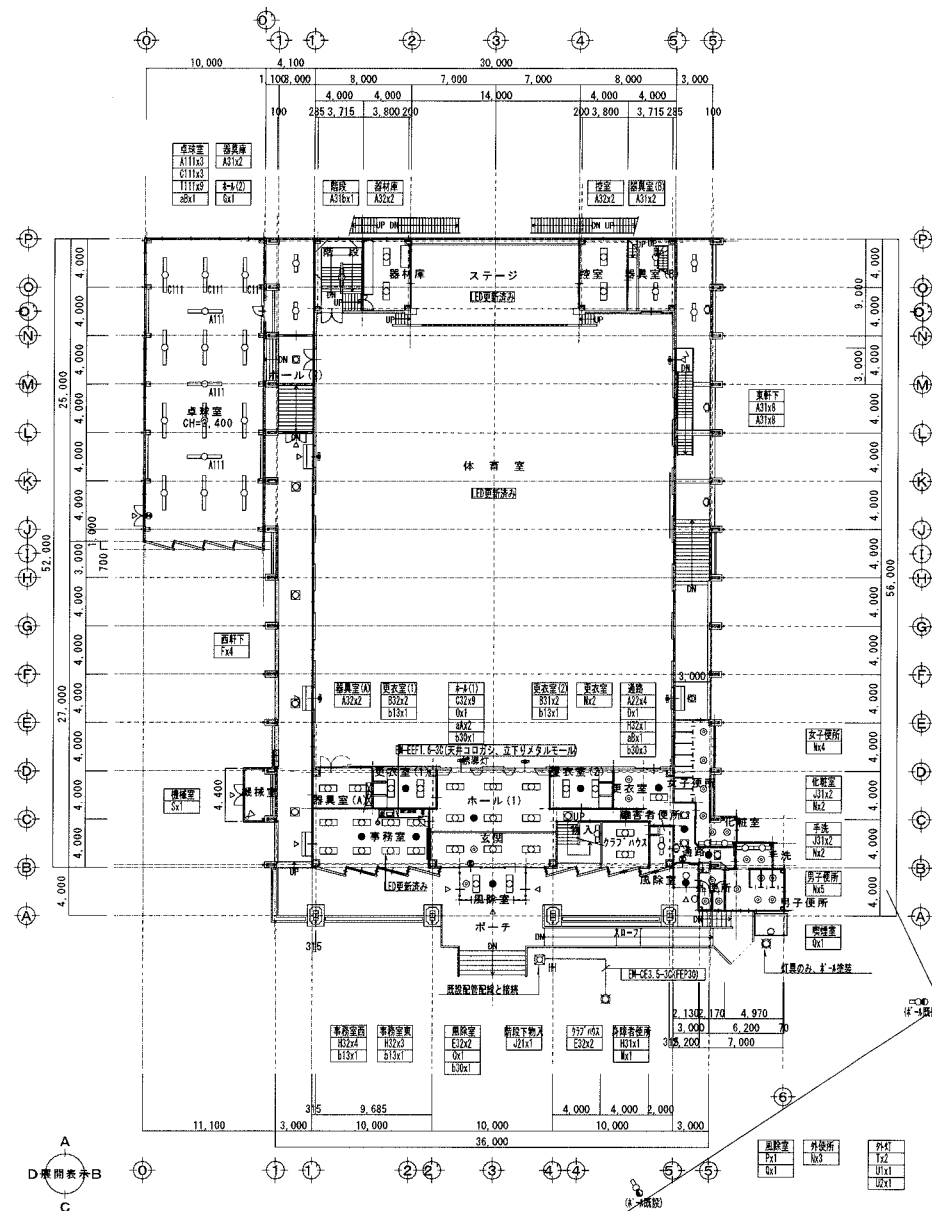


地階平面図 (改修) 1 : 200

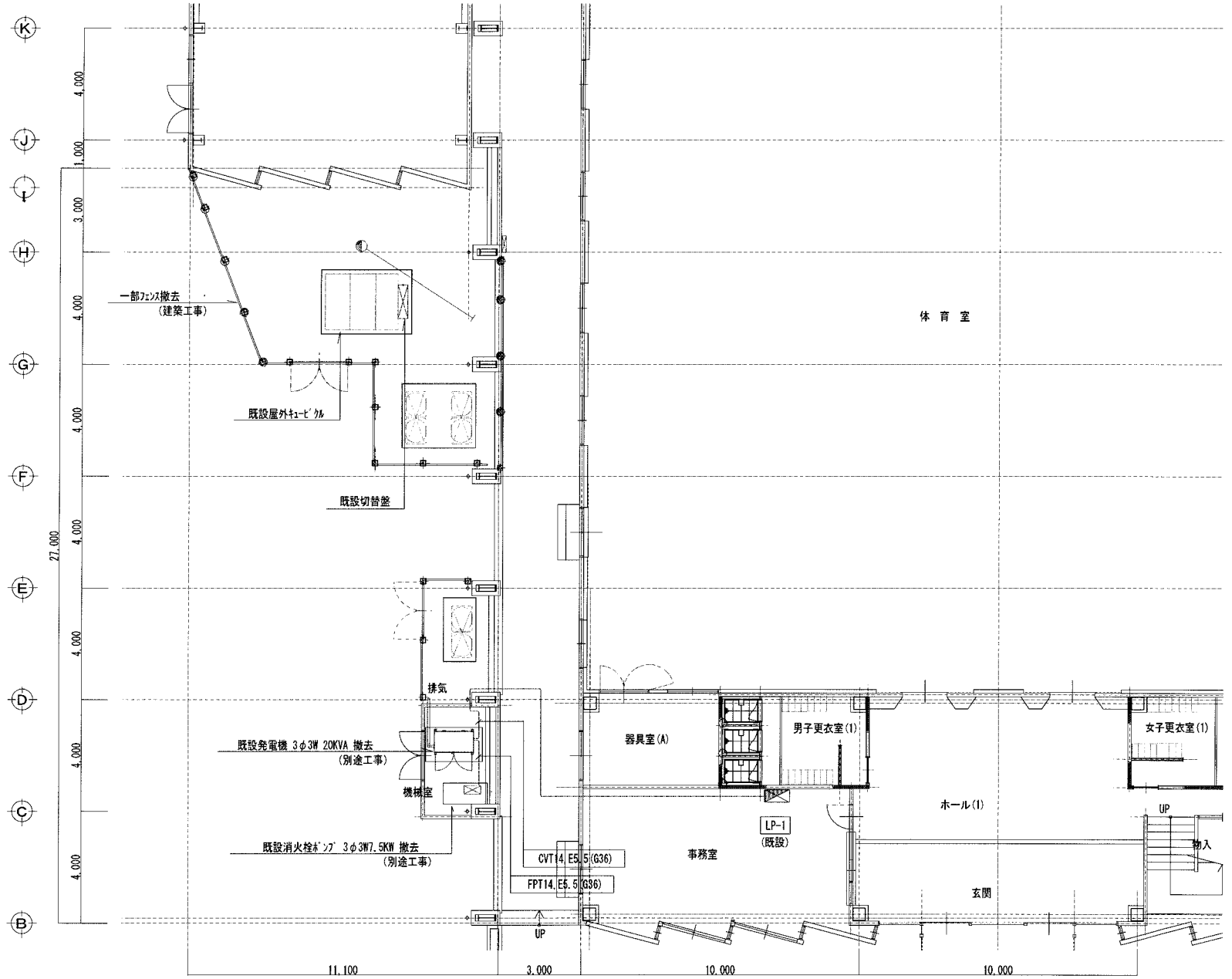
凡例 (既存改修共通)

≡ R C 造 特記なきは、外部 t=150・内部 t=150
 ≡ A L C 造/パネル造なきは 外壁/パネル t=150
 軽鋼鉄骨間仕切特記なきは 65型
 ≡ 木造間仕切り

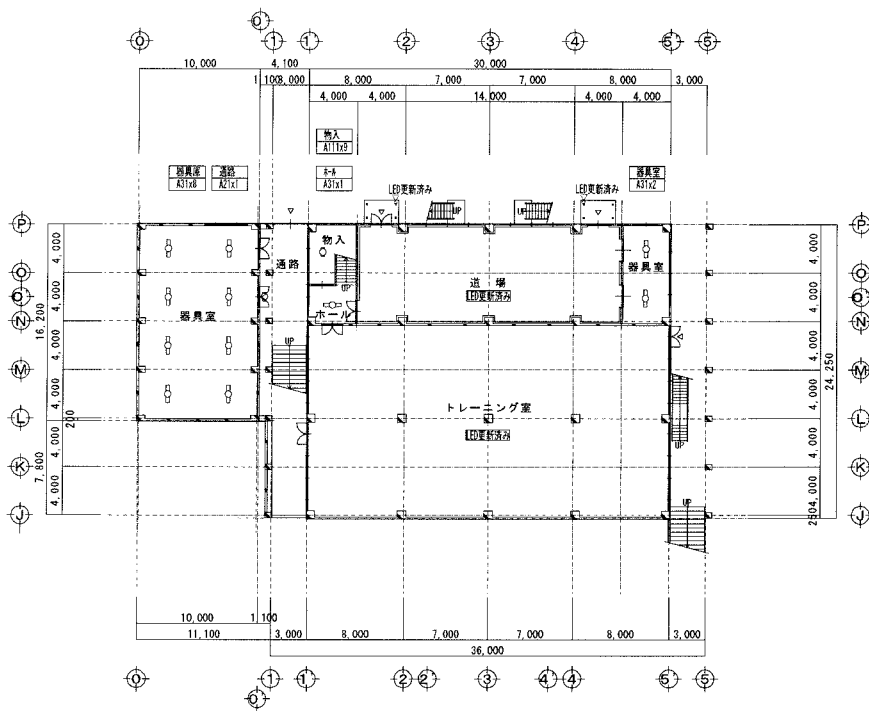
既存床開口 (450口)



1階平面図 (改修) 1 : 200



MEMORANDUM TITLE 令和7年度 南箕輪村民体育館 大規模改修工事	ITEM 外構設備撤去図	SCALE 1/100	DATE 2025.10	CHECK DRAWING 一級建築士 第352423号 小町 薫	CHECK DRAWING 株式会社 創和設計 〒309-4501 鳥取県上伊勢郡西郷町中賀崎7574-1 Tel. 0293-79-1222(代) Fax 0293-79-4965 一級建築士 寺島伸幸(代表) 一級建築士 小町 薫 一級建築士 大石 隆雄 第352423号 電験第二種 小町 薫	SHEET NO. E-11 / 13
--	-----------------	----------------	-----------------	--	--	------------------------



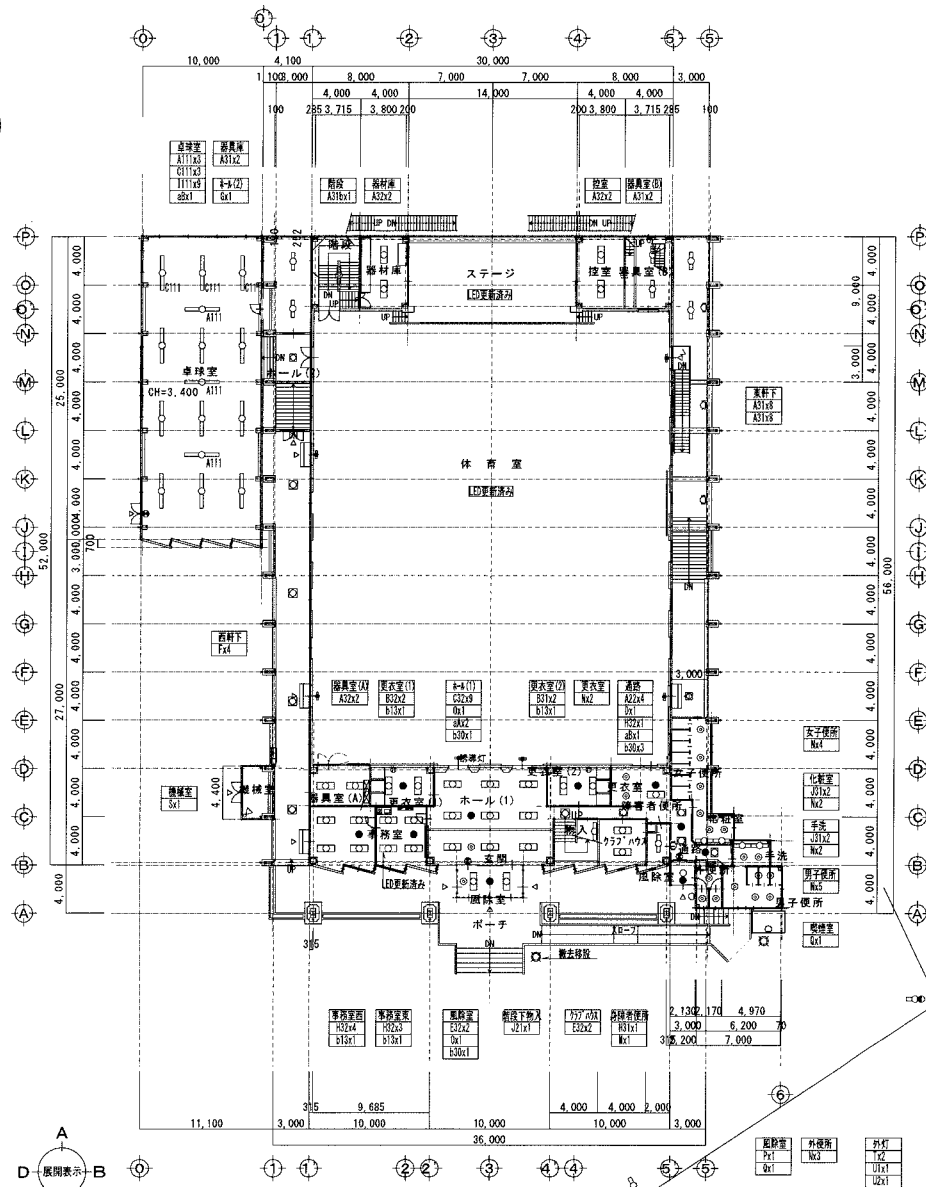
地階平面図 (改修) 1 : 200

※ 既設器具撤去・LED器具更新とする。

凡例 (既存改修共通)

- RC造 特記なきは、外部 t=150・内部 t=150
- ALC壁/パネル特記なきは 外壁/パネル t=150
- 軽集積荷間仕切 特記なきは 65型
- 木造間仕切り

下点検口 (450口)

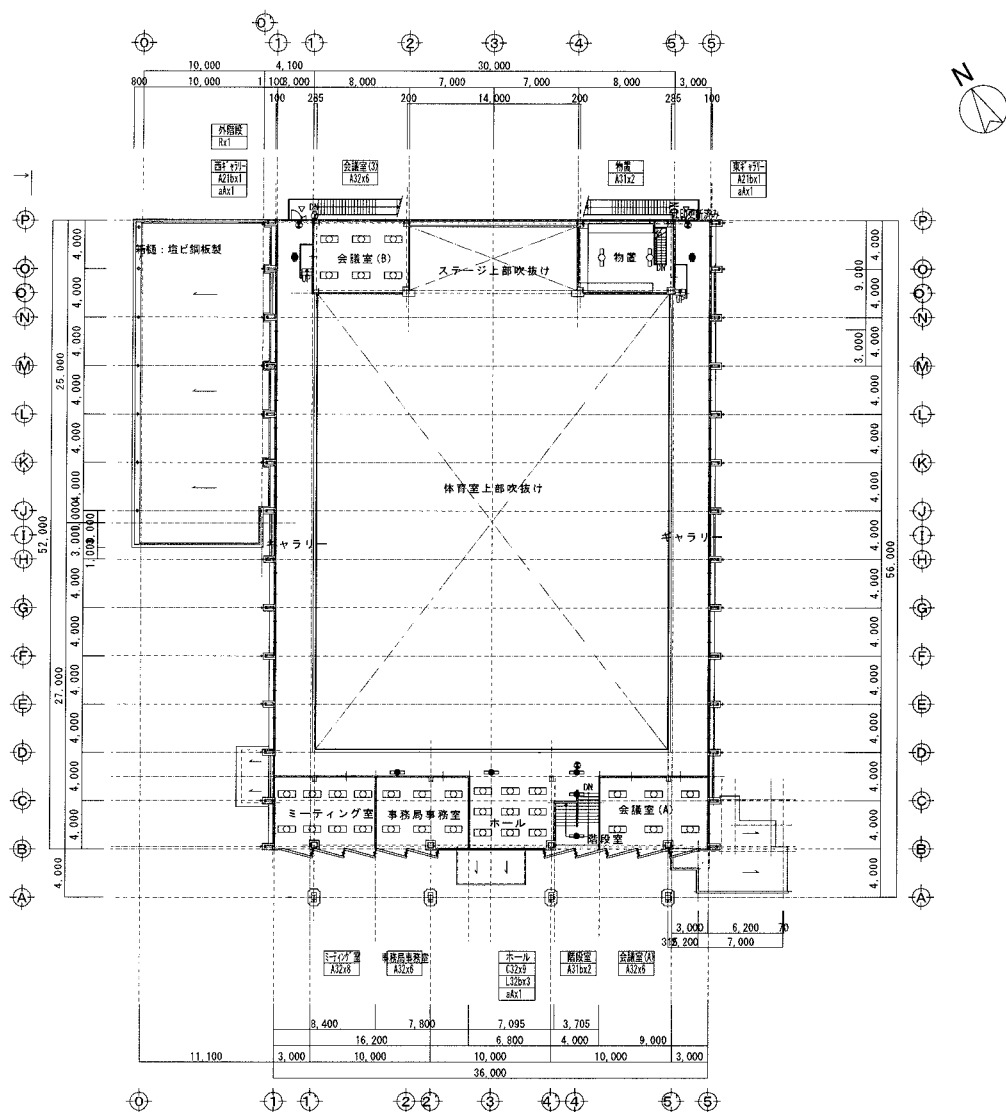


1階平面図 (改修) 1 : 200

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK DRAWING	SHEET NO.
	令和7年度 南箕輪村民体育館 大規模改修工事	1階照明設備配置図	1/300	2025.10	一級建築士 第352423号 小川 豪	E-12/13



株式会社 創和設計
〒999-4401 宮城県上野市西宮町中宮崎1674-1
TEL 0235-79-1221(FAX) 0235-79-4916
一級建築士事務所登録 (伊勢) 伊勢771214
一級建築士 大石貴博 第352423号 登録建築士 小川 豪



※ 既設器具撤去・LED器具更新とする。

照明器具器具一覧【撤去】				
記号	仕	様	灯数	備考
A21	富士型	FL 20W x 1	2	
A31	富士型	HF 32W x 1	17	
A32	富士型	HF 32W x 2	32	
A111	富士型	FL 110W x 1	3	
A21b	富士型	FL 110W x 2 電池内蔵型	2	
A31b	富士型	HF 32W x 1 電池内蔵型	3	
B21W	富士型	FL 20W x 1 防雨・防湿型	3	
B31W	富士型	HF 32W x 1 防雨・防湿型	4	
B32W	富士型	HF 32W x 2 防雨・防湿型	2	
C32	直付下面開放F	32W x 2	18	
C111	直付下面開放L	110W x 1	3	
D	直付	* 300 x 300	1	
E32	埋込ルーバ付F	32W x 2 W300	11	
F	埋込パネル *	埋込300 x 300	5	外部軒下設置
G	埋込パネル *	埋込450 x 450	1	
H22	埋込下面開放L	20W x 2 W300	4	
H31	埋込下面開放F	32W x 1 W150	1	
H32	埋込下面開放F	32W x 2 W150	1	
H111	埋込下面開放L	110W x 1 W220	9	
J21	トラフ	FL 20W x 1	1	
J31	トラフ	HF 32W x 1	4	
K21	直付カバー付L	20W x 1	1	
L31b	直付カバー付F	32W x 1 電池内蔵型	3	
M	表示灯	FL 10W x 1 表示：使用中	1	
N	ダウンライト*	150Φ	18	
O	ダウンライト*	センサー付	2	
P	シーリング *	センサー付	1	
Q	ブラケット *		2	
R	直付カバー付L	20W x 1	1	
S	スポットライト *		1	
T	防犯灯	FL 20W x 1 防雨・防湿型	2	ポール取付
U1	ポール灯丸型	HF 250V 防湿型	1	
U2	ポール灯丸型	HF 250V 防湿型	1	灯具のみ
aA	避難口誘導灯A級	電池内蔵型	4	
aB	避難口誘導灯B級	電池内蔵型	1	
b30	ダウンライトE	30W x 1 電池内蔵型	4	
b13	ダウンライトE	13W x 1 電池内蔵型	4	

位置図

